



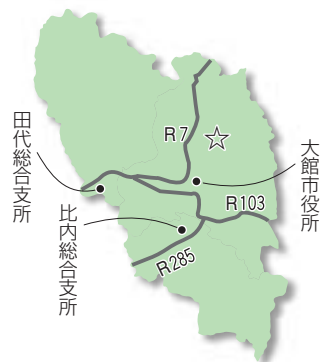
歩いて会って何でも話す

ワクワクの突撃取材

あつてグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

☆今回訪ねたのは
「おひなさま茶会」
H20. 3. 2取材



暖

かくなって、もうすっかり春になりました。そんなに雪かきには苦労しませんでしたから、あれほど寒い日が続いても、結局は、暖冬だったのでしようかねえ。今回は、大館に春を告げる「おひなさま茶会」におじゃましました。この茶会は、郷土博物館が茶道サークルの「宮館恵月同好会」のご協力を得て開催しているもので、今年で8回目。おひなさまが所狭しと飾られた中でのお茶会ですから、何とも風流な感じ。おまけに、普段お目に掛かれない上品なお菓子が出ちゃいます。雅な雰囲気でお上品に、レッツゴーでございます。

会

場に着くと、すでにたくさんのお客さん。おばあちゃん、お母さんと一緒にいらしていたのが、**木村くるみさん**(釈迦内・県市公営住宅)。「小学3年生のときにお茶を習ったので、そのときから興味があつて、お茶会には毎回来ています。お茶は、これからも続けていきたいです」。おばあちゃん**のサダ子さんは**、「いつも孫にせがまれて、一緒に来てるんですよ。珍しいおひなさまも楽しみです」。「私は、たまたま今回来たんです」とは、お母さんの**明子さん**。たしかに、サダ子さんとくるみさんは、何となく見覚えが。私の記憶が確かならば、ここ数

左からサダ子さん、明子さん、くるみさん。



年連続でいらしているはず。鳥潟会館でのお茶会でもお会いしたような。またどこかのお茶会で、お会いしましょうね。
和 服でお茶会に参加していたのが、**高橋美和ちゃん**(伊勢町)。お父さんの**信行さん**、お母さんの**美絵さん**、弟の**秀和くん**と、家族そろっていらしています。「初めてのお茶会です。お茶はおいしかった」のは信行さん。「おひなさまがたくさん飾ってあつて、ステキ。こういう機会でもないと、娘に着物を着せることが無いので、着せてみたんです」と美絵さん。「おひなさまとお茶会、楽しかった」のは美和ちゃん。着物が良く似合ってますよ。お母さんの苦勞が報われました。「お菓子おいしかったよ」と秀和くん。どうやら、ご一家で楽しんでいただけたようです。



左から、信行さん、秀和くん、美和ちゃん、美絵さん。